

約250点のサツキが展示されたさつき&花フェア



【宇都宮】宇都宮さつき&花フェアが26日、新里町のろまんちっく村で始まった。会期は6月3日まで。

ことしは県内外のサツキ愛好家で作る県臈月会の会員らが愛情込めて育てた約250点の

宇都宮・ろまんちっく村

さつき250点展示

来月3日までフェア

サツキが展示されている。総理大臣賞に輝いた「日光」は小ぶりのピンクや赤い花を付け、農林水産大臣賞を受けた「紫輝彩」

は白地に赤紫の大ぶりの花が特徴。来場者は「きれいだね」「枝ぶりも見事」などと言いながら足を止めて見入っていた。

開会式では佐藤栄一市長が主催者を代表して「ろまんちっく村は9月に道の駅になる。サツ

キをはじめ多くの宇都宮の名産を広めていきたい」とあいさつ。こ

の後、臈月会の会員らが寄付したサツキなど

のチャリティーオークションやサツキの栽培実技実演会など多彩なイベントが行われた。

同フェアは市の花サツキのPRや市内の花き花木の生産振興を目的に毎年開かれ、ことし17回目を迎える。

